

新たな50年に向けさらに前進

関西鉄筋工業協同組合の第50回通常総会



関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長、58社）の「第50回通常総会」が5月17日、大阪市北区のラマダホテル大阪で開催され、平成23年度の事業計画・収支予算案などの各議案を全会一致で承認しました。総会には委任状によるものも含め、会員58社のうち51社の代表が出席しました。

総会の冒頭で挨拶した岩田理事長はまず、東日本大震災の被災者にお見舞いのことばを述べながら「一日も早い復旧・復興に向け、全鉄筋とも連携しながら組合としても出来る限りの支援活動を行いたい」と強調し、組合会員やその従業員などから寄せられた約153万円の義援金を寄付することも報告しました。そして「今年は当組合の創立50周年となり、これまでを振り返りながら、組合として今後何をすべきかを考える時だと思う。建設技術展や出前講座などの新たな取り組みも成果が表れており、今後も皆さんの力を借りながら新たな50年を歩んでいきたい」と述べて挨拶を締めくくりました。

この後の議事では、平成22年度事業報告書・収支決算書や23年度事業計画・収支予算案などの各議案を審議し、いずれも全会一致で承認されました。

また、第 5 号議案の「その他」では、今年 5 月に組合を退会する三島鉄筋建設の三島一郎理事が挨拶し、会員並びに関係者にこれまでのお礼と感謝の気持ちを述べました。続いて、岩田理事長より、定款第 40 条緊急議案として定款第 24 条に基づき、理事 3 名の欠員を補充するものとして初岡憲氏（コーヨースチール）、又野吉史氏（又野鋼業）、森山直樹氏（城東鉄筋）の 3 名を理事就任に選出する動議が提案され、承認しました。

※

新部長に初岡憲氏

青年部の第 19 回総会

親会の総会に先立って行われた青年部（16 名）の総会では、任期満了に伴う役員改選が行われ、又野吉史部長の後任として初岡憲氏（コーヨースチール）が新部長に選出されました。また、副部長には辻本浩二氏（辻本鉄筋工業）が就任しました。

初岡新部長は「厳しい状況の中、本業をしっかりとやることはもちろんだが、組合の活動も大切だと考えている。皆さんの協力を得ながらしっかりと活動していきたい」と抱負をのべました。